

聴くことは成功の秘訣 Part 3

本音を聴くためのコツとは？

秋も深まり紅葉が綺麗になってきましたね。皆さんいかがお過ごしですか？

『聴く事は成功の秘訣』というテーマで<人の話しを聴く力>を高めるコツをシリーズでお伝えしています。皆さんの「聴く力はアップしてきてますか？」

今日は、その第三弾で、「本音を聴くためのコツとは？」というテーマと一緒に考えたいと願っています。

まず、いつものように1つの質問をさせて下さい。

Q.お子さんや誰かの「本音」を聴く（引き出す）ためには、どこに焦点をあてて聴けば良いと思いますか？ちょっと考えて下さい。

実は、話し手の本音を聴く（引き出す）ためには、話し手の「感情」に焦点をあてて聴くことが大切なんです。

なぜ、感情に焦点をあてる必要があるのでしょうか？

それは、人の真意は、言葉よりも言葉以外（非言語）に含まれているからなのです。

非言語とは、話し手から読み取れる言葉以外の情報である視覚情報（外見・表情・態度・ジェスチャー）と聴覚情報（声の質感・話す速さ・声の大きさ・口調）を大まかに意味します。

たとえば、あなたがお子さんに「○○ちゃん、今日の試験はバッチリできた？」と尋ねた時に、目を合わさないで、つぶやくように小さな声で「バッチリだよ。」と言ったとするなら、お子さんの真意（本音）は、「バッチリだよ。」という言葉ではなく、「目を合わさない」「小さな声」という感情のあらわれである言葉以外に含まれている「非言語」にあるということです。

そこで今日のテーマである「本音を聴くためのコツ」は、話し手の言葉や表情の背後にある『感情（気持ち）』に注目しながら聴くことと言えます。

具体的には、お子さんの場合ですと、お子さんが言っている言語だけではなく表情・目線・しぐさ・態度・ジェスチャー・声の質感・話す速さ・声の大きさ・口調などに注目の「非言語」を察知（キャッチ）しようとする事です。

そしてキャッチしたなら「あなたの表情を見ていると、お母さんにはバッチリできていないかな？と感じるんだけど、どう？」と感じたことを伝え、質問しながら丁寧に尋ねる事です。

ここで大切なのは、「ウソをつくな！本当のことを言え！」というような決めつけた感じにならないで、あくまでも話し手が自らの意志で、本音を話せる様に安心感を与えるような雰囲気です。「質問」して尋ねる事です。くれぐれも詰問にならないように注意してくださいね。

今日、誰かの話しを聞く時に、非言語である表情・目線・しぐさ・態度・ジェスチャー・声の質感・話す速さ・声の大きさ・口調などに注目しながら聴いてみてください。

或いは、話し手の発する「言葉（なんて言っているか？）」に焦点をあてないで、話し手の「感情（どう思っているか？）」に焦点をあてて聴いてみてください。

きっと話し手の本音、本当に言いたかったこと、伝えたかったことが伝わってきますよ。

期待してトライして下さい。またお会いしましょう。



チャリティー イベント

Nutcracker Christmas

2018/12/09 (日)
18:00-19:30
ウッディタウン市民センター 2F大集會室
¥500/1人 (未就園児は無料)

ゲーム・バレエ・歌
クリスマスの物語
クラフト・楽しもう

Events

COME CELEBRATE CHRISTMAS WITH US ON 12/9!

WE ARE GOING TO HAVE A GREAT TIME!

12月1日までに参加費を添えてお申込みください。



ワークショップ

12月15日 (土曜日)

10時~12時

¥1,000

Childcare available!

「あなたの愛がお子さんに伝わっていますか？」

～あなたらしく頑張らないで愛を伝えるコツ～

教師：藤井恵嗣&藤井和美

子育てで最も必要なことは「愛」です。親なら誰でも子どもを愛している、愛したいと願っていると思います。しかし課題は、親の思いが子どもに伝わっていないことが多いのです。今回のワークショップでは、お子さんに愛がしっかりと伝わるコツを見出すことができます。期待してご参加下さい。

申し込み先

